

Odds Park Club

vol.58

門別競馬場特集

ジョッキーインタビュー

石川 倭 騎手

2020.7~9



Graded Dirt Races

- 7/ 8 ジャパングートダービー JpnI(大井)
- 7/15 スパークングレディーカップ JpnIII(川崎)
- 7/21 マーキュリーカップ JpnIII(盛岡)
- 8/10 クラスタースタート JpnIII(盛岡)
- 8/12 サマーチャンピオン JpnIII(佐賀)
- 8/13 ブリーダーズゴールドカップ JpnIII(門別)
- 9/22 テレ玉杯オーバルスプリント JpnIII(浦和)
- 9/29 白山大賞典 JpnIII(金沢)
- 9/30 日本テレビ盃 JpnII(船橋)

私的な名馬録

13歳まで重賞制覇 オースミダイナー

2002年9月16日、オースミダイナーの引退式を見に門別競馬場を訪れた。その約2年前、12歳(旧13歳)で制した第4回北海道スプリントカップGⅢの優勝レイをかけ、当時はゴール前にあったパドックを悠々と歩いていた。レースと同じく、若々しい強いまなざしで。

ダイナーは脚部不安に悩まされ、3、4歳の中央時代はダートで6戦5勝。2年近く休養し、6歳で北海道・若松平厩舎に転厩。晩秋の帯広で復帰戦を飾った。

私がダイナーを初めて見たのは9歳を過ぎてからだ。目の輝き、体のしなやかさからいつもパドックで「若いなぁ」と感じさせた。転厩後は臍を痛めるなど苦労した時期もあったそうだが、活躍に合わせたかのようにホッカイドウ競馬の旧年齢10歳の定年制も撤廃された。

先行するイメージがあるがそれはスタートが良すぎるからだそうで、レースによっては中団からも抜け出す。距離は1000から2100mまでオールラウンド。当時のオープン馬は幅広い距離をこなし、初心者でも予想をしやすく(当てやすいのではない)、

ダイナーにはいい意味でよく裏切られた。

ダイナーといえば、9歳から4連覇した春の瑞穂賞(札幌1700m、99年のみ門別)の印象が強い。3、7、6、8番人気と「さすがに今年は」と思わせるところから毎年勝つのだから、感激する。しかも4連覇の年には、交流GⅢの北海道スプリントカップまで勝ってしまう。カガヤキローマン(大井)やストーンステッパーなどJRA馬4頭が出走し12頭中10番人気。大外12番枠から先行し、押し切る姿に唖然とした。

その後7月のステイヤーズカップ(旭川)では競走中止し、9月は元気な姿でJRA札幌のエルムステークスGⅢに登場(7着)。いろいろな場面でヒヤヒヤさせる。

01年からは年齢表記の変更により、ダイナーは2度目の13歳を迎える。数字が変わらないのがちょっと悔しく思ったものだ。そして瑞穂賞が、9月の旭川1600mに変更となった。馬のためにレース形態が変わるのは仕方がないとはいえ、5連覇後でもいいのでは、なんて思ったものだ。不利と思いつつも「ダイナーならやってくれるのでは」と願う気持ちもあったが4着。その年11月の道営記念がラストランとなった。

前後するが、最後の勝利は7月の第1回エトワール賞(旭川1000m)で、国内の重賞最高齢勝利記録を自ら更新。私にはもう1頭、牝馬のメイショウヒダカというお



写真●いちかんぽ

12歳で制した北海道スプリントカップ

気に入りの逃げ馬がいた。ダイナーとは7歳差で、父と娘くらいの年の差がある2頭の逃走劇が好きだった。この日は逃げ切ったダイナーとヒダカのワンツー。ダイナーの藤倉寛幸騎手とヒダカの渋谷裕喜騎手は、なぜか向正面からゆっくりと、ともに戻ってきた。2頭の会話のようにも感じられ、忘れられない旭川ナイターの記憶である。

03年に種牡馬入り。道営ファンにはおなじみ“クラ”の冠をつけたクラダイナーが産駒として唯一デビュー。道営の仮想馬主「サポーターズクラブ」の1頭となり、皆で応援する機会にも恵まれた。

小久保友香(こくぼ ゆか)

1974年、札幌市生まれ、帯広市在住。北海道新聞HotMedia所属。ばんえい競馬やグルメ、イベント欄担当の地元紙記者。競馬媒体にも記事を寄稿する。草ばん馬や牧場など、幅広く馬のいる場所にカメラを持って訪れている。

ピックアップ!!

グランダム・ジャパン 2020 古馬シーズン

『グランダム・ジャパン(GDJ) 2020古馬シーズン』は、5～10月に地方各地で行われる牝馬重賞のうち9戦で構成される。2戦以上に出走し、各レースの着順ポイントと、最終戦(レディスプレリウドJpnⅡ)のみ与えられるエクストラポイント(地方馬のみの順位で1～3位の馬に加算)の合計により地方所属の古馬女王を決定するシリーズ競走。優勝馬には1000万円、2位に200万円、3位に100万円のボ

ーナス賞金が与えられる。

エクストラポイントが適用されるようになった2017年以降では、2017のララベル(大井)は、最終戦で地方最先着となり、逆転で総合優勝を果たした。2019のクレイジーアクセル(大井)は、最終戦を残しポイント暫定トップだったが、レディスプレリウドJpnⅡで地方最先着となったことで、文句なしの総合優勝。2位につけた25ポイントは史上最大の差だった。また2018のディアマルコ(高知)は、高知所属としてGDJ(2歳、3歳シーズンを含む)で初優勝。過去の古馬女王のうち最多となる5戦に参戦し3勝を挙げるタフな活躍をみせ、最終戦の地方最先着はほかの馬だったが、それまでのポイント差がモノを言った。なおこの3頭はすべて、女王に輝いた年にNARグランプリで4歳以上最優秀牝馬に選出されている。

さて、2020の古馬シーズンは、佐賀ヴィーナスカップ



写真●兵庫東競馬組合

2018年兵庫サマークイーン賞

のみ終了。7～9月には7戦が組まれているが、多くの馬にとって出走しやすい競馬場で約1カ月おきに実施される兵庫サマークイーン賞→読売レディス杯→秋桜賞をどう戦うかが上位を目指すためのポイントになる。2018のディアマルコは、この3戦を1、4、1着で着実にポイントを加算(ほか佐賀ヴィーナスカップ1着、レディスプレリウドJpnⅡ・8着)。ポイントが高いダートグレードで上位入線していた馬をしりぞけて優勝。2019はステップオブダンス(大井)が同4、4、3着とし、最終戦は不出走でも総合3位に食い込んでいる。

今年で11年目となり、新たな歴史を刻み出すGDJ。ぜひオッズパークでお楽しみください。

実施日	レース名(競馬場)	2019年の優勝馬
5/24	佐賀ヴィーナスカップ(佐賀)	※ジェッシージェニー(大井)
7/15	スパーキングレディーカップJpnⅢ(川崎)	ファッシュニスタ(JRA)
7/16	ノースクイーンカップ(門別)	クレイジーアクセル(大井)
7/24	兵庫サマークイーン賞(園田)	エイシンエール(兵庫)
8/13	ブリーダーズゴールドカップJpnⅢ(門別)	アンデスクイーン(JRA)
8/18	読売レディス杯(金沢)	ジェッシージェニー(大井)
8/30	ビューチフルドリーマーカップ(水沢)	クレイジーアクセル(大井)
9/17	秋桜賞(名古屋)	ジェッシージェニー(大井)
10/8	レディスプレリウドJpnⅡ(大井)	アンデスクイーン(JRA)

※2020年の優勝馬

GDJ古馬シーズン過去の優勝馬	
シーズン	馬名(所属)
2019	クレイジーアクセル(大井)
2018	ディアマルコ(高知)
2017	ララベル(大井)
2016	トーヨーヴィーナス(兵庫)
2015	サンパビーン(北海道)

ばんえい競馬



場番号 帯広03#

●無観客、ばんえい競馬

新型コロナウイルスのため、昨シーズン終盤から無観客競馬で開催しているばんえい十勝。今シーズン開幕の“4月24日から5月11日の10日間の発売金額が、前年比48.4%増の33億500万円に上った”と先日、北海道新聞が報じていた。インターネットによる売上げが好調らしいが、他の紙面には明るい話題は少なく、なにか複雑な気持ちである。

無観客で人気のないスタンドを歩いてみると、今は廃刊となったホースニュース社に入社した昭和48年ころを思い出す。



3月21日 ばんえい記念 オレノココロ

当時、ばんえいの新聞は札幌支社で作っていた。レース前日の朝9時から競馬場スタンド3階の番組編成室で枠順の抽選が行われ馬番が確定するのだが、その度に別棟にあったゴンドラの記者席まで無人のスタンドを走った。札幌で印刷された新聞を、その日の最終レース終了後に競馬場の各売場で販売するためには、指定された飛行機や特急列車に間に合わせる必要がある。携帯もファックスもなかった時代、ダイヤル式の黒電話で息を切らせながら第1レースから順に送り、その後、予想やレースのオッズを作り、読み合わせをしようやく終了である。限られた時間との闘いであった。

22～23歳の若いころだからできたこ



5月3日 ばんえい十勝オッズパーク杯 コウシュハウンカイとだろうが、ばんえいのトラックマンはばん馬のように、スタンドを走るスピードと、階段を駆け上がる障害力を持ち合わせ、体力的にもタフでなければならないという、古き良き時代であった。

文●小寺雄司

●ばんえい競馬重賞勝ち馬一覧 2020年3月～2020年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/1	チャンピオンカップ(4歳以上)	200	アモンドグンシン(セン5)	長澤幸太	ばんえい・小林長吉
3/7	イレネー記念(3歳)	200	コマサンダイヤ(牡3)	藤野俊一	ばんえい・金田 勇
3/15	ポブラ賞(4歳・5歳)	200	アオノブラック(牡4)	西 謙一	ばんえい・金田 勇
3/21	ばんえい記念(4歳以上)	200	オレノココロ(牡10)	鈴木恵介	ばんえい・梶籠重人
5/3	ばんえい十勝オッズパーク杯(4歳以上)	200	コウシュハウンカイ(牡10)	藤本 匠	ばんえい・松井浩文
5/10	カーネーションカップ(3歳以上牝)	200	ナカゼンガキタ(牝6)	藤本 匠	ばんえい・松井浩文

ホッカイドウ競馬

場番号 門別 06#

●夏以降は遠征も活発に

全国の競馬場では、5月末の執筆時点でも無観客開催が続いている。一日も早く、ファンの皆さんがライブでも競馬をお楽しみいただける日が戻ってきてくれることを願うばかりなのだが、新型コロナウイルス感染拡大の影響はファンとの接点だけでなく、競馬の施行面においても特に“交流”の部分に影を落としている。

ダートグレードやJRAの交流重賞などは通常通り施行されるものの、地方場で行われる条件馬の交流競走は軒並み取りやめに。また、JRA競馬場で組まれる特



5月14日 北斗盃 レッドカード

別指定交流競走は重賞を除いてその指定が外され、出走資格をもつ地方馬がJRAに挑戦できない事態が続いている。

2歳競走が主力のホッカイドウ競馬には当然、その影響が非常に大きい。データを持っているわけではないが、JRA特別指定交流競走への出走数はおそらく2歳馬がダントツに多いはずで、しかもその多数をホッカイドウ競馬所属馬が占めているのは、ほぼ間違いないと思われる。8月の札幌開催では例年、コスモス賞やクローバー賞、すずらん賞に多数の道営2歳馬が出走し、17年のすずらん賞Vリュウノユキナのようにその舞台で一気に素質を開花させる馬も出てくるわけだが、今年の札幌では2歳交流戦が無事、行われるのかどうか。

仮に例年通りに行われなかった場合、

それら高素質馬の目標が地方他地区の重賞となる可能性も高そうだ。特に盛岡の芝マイル重賞・ジュニアグランプリなどは、遠征馬のレベルが跳ね上がることになるのではないかと。

さて門別競馬、7月以降は2歳戦がさらに充実し、3歳部門では7月23日に三冠最終戦の王冠賞が行われる。古馬中距離戦線では星雲賞、短距離ではエトワール賞が行われるが番組面で特に充実するのは牝馬戦線。7月にはノースクイーンカップ、8月にはブリーダーズゴールドカップJpnⅢがあるほか、グランダム・ジャパン古馬シーズン挑戦で水沢・ビューチフルドリーマーカップほか他地区重賞への遠征なども活発になってくる。無観客開催は早く終わってほしいものだが、それまで皆さん、地方競馬もオンラインで存分にお楽しみ下さい！

文●HDK

●ホッカイドウ競馬重賞勝ち馬一覧 2020年3月～2020年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
4/23	コスモバルク記念(3歳以上)	1800	ドラゴンエアル(牡9)	服部茂史	北海道・田中淳司
5/14	北斗盃(3歳)	1600	レッドカード(牝3)	井上俊彦	北海道・林 和弘
5/21	赤レンガ記念(3歳以上)	2000	ステージインパクト(牡8)	宮崎光行	北海道・佐久間雅貴

岩手競馬



場番号 盛岡11・水沢12#

写真●岩手県競馬組合

●古馬の大物ランガディア転入

冬期間にオフシーズンがある岩手競馬は、毎年春の開幕時に多数の転入馬が加わり、昨冬までの在籍馬との力比較が予想の大きなポイントになるが、この春は大物の転入が古馬路線を盛り上げた。板垣吉則厩舎へやってきたランガディアは6歳馬だが、まだキャリアは14戦、それでいて5勝をあげてJRAのオープンクラスで走っていた。ただしダート戦の経験は転入直前の総武ステークスだけで、そこでは16頭立て16着。転入初戦の赤松杯はファンもダートでの力量を測りかねて6番人気にとどまっていたが、直線だけで9馬身差をつける圧勝劇を演じて見せた。続くM1レースのシアンモア記念ではランガディアとエンパイアペガサス



5月10日 シアンモア記念 ランガディア(左)

のマッチレース。最後の直線は馬体を接しての追い比べとなりハナ差ランガディアが競り勝ったが、最後3ハロンで13.6-13.4-13.2と加速していくラップタイムにも驚かされた。昨年の岩手年度代表馬ヤマショウブラックが2頭から9馬身離されたことから、レースレベルの高さは推し量れる。マーキュリーカップJpnIIIなど交流重賞になればさらに厳しい相手関係になるが、他地区の馬を相手にどんな戦いができるのか、ファンの皆様にも注目していただきたい。

●3歳は生え抜きグランコージー主役

3歳一冠目となったダイヤモンドカップは、昨年の2歳最優秀馬となったグランコージーが逞しさを増して9馬身差で圧勝した。こちらは冬期間船橋に所属し



5月3日 ダイヤモンドカップ グランコージー

での再転入初戦で、川崎のクラウンカップを6着しての里帰り。このパターンは近年定着しつつあり、ペンテンコゾウやチャイブーンが南関東でパワーアップに成功。昨年のヤマショウブラックは羽田盃5着で東京ダービーにも出走し、岩手で秋冬の大活躍に繋げた。9月の不来方賞、10月のダービーグランプリには少し時間があるだけに、有力馬はその間もなにか動きがあるかもしれない。

文●深田桂一 (ケイシュウNEWS)

●岩手競馬重賞勝ち馬一覧 2020年3月～2020年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
4/5	スプリングカップ(3歳)	水沢1600	フレッチャビアンカ(牡3)	村上 忍	岩手・千葉幸喜
4/6	あやめ賞(3歳牝)	水沢1400	アンズビジン(牝3)	高松 亮	岩手・佐藤雅彦
4/12	赤松杯(3歳以上)	水沢1600	ランガディア(牡6)	鈴木 祐	岩手・板垣吉則
4/26	留守杯日高賞(3歳牝)	水沢1600	ボンボンショコラ(牝3)	山本聡哉	浦和・小久保智
5/3	ダイヤモンドカップ(3歳)	水沢1600	グランコージー(牡3)	鈴木 祐	岩手・櫻田康二
5/10	シアンモア記念(3歳以上)	水沢1600	ランガディア(牡6)	鈴木 祐	岩手・板垣吉則
5/24	早池峰スーパースプリント(3歳以上)	盛岡1000	コンサートドレ(牡6)	山本政聡	岩手・板垣吉則

金沢競馬

場番号 41#

写真●石川県競馬事業局

●重賞新設で路線拡充

新型コロナウイルスの影響で今年度の開幕キャンペーンがなかったこともあって、ご存じではないファンもいると思うが、金沢競馬では今シーズンから重賞が3レースも新設された。5月にはこのうちノトキリシマ賞と利家盃が行われた。

ノトキリシマ賞は昨シーズンまで準重賞として行われていた同名レースを格上げして新設された。勝ったのはハクサンアマゾネスで、2歳時から牝馬重賞の常連だったドンナフォルテを8馬身も突き放す圧勝劇だった。中央で未出走のまま移籍してきて3戦負けなしでの重賞制覇



5月17日 ノトキリシマ賞 ハクサンアマゾネス

で、勝ちっぷりの良さから石川ダービーへの挑戦を決めた。金沢デビュー馬限定で行われたが、今後は他地区でデビューして移籍してきた牝馬も走れるようになれば、石川ダービーへの新しいステップレースになりそうだ。

利家盃は百万石賞へのトライアル戦として新設された。古馬A級による5月の2000メートル戦は2005年まで行われていたジェイティービー賞(JTB賞)と同じ条件だ。勝ったサノサマーは、元中央5勝馬で今冬に南関東へ移籍したが結果が出ず、今春金沢にやってきた。転入初戦は終始追い通しの手応えながら直線に向くと一気に伸びて、逃げた馬をゴール寸前でアタマ差捕らえる辛勝だった。しかし利家盃ではスタートも良く、金沢スプリングカップを勝ったティモシブル



5月24日 利家盃 サノサマー

ーを終始外からにらみながらレースを進めると、先に先頭へ抜け出した同馬を直線半ばで捕らえて、ゴール前で2馬身引き離す快勝劇だった。新たな強豪の出現によって、本番の百万石賞が大いに盛り上がりそうで、2000メートル重賞の復活は大きな意味があったように思える。

文●中部地方競馬記者クラブ

●金沢競馬重賞勝ち馬一覧 2020年3月～2020年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
4/28	金沢スプリングカップ(4歳以上)	1900	ティモシブル(牡6)	畑中信司	金沢・金田一昌
5/4	北日本新聞杯(3歳)	1700	フジヤマブシ(牡3)	平瀬城久	金沢・黒木 豊
5/17	ノトキリシマ賞(3歳牝)	1500	ハクサンアマゾネス(牝3)	吉原寛人	金沢・加藤和義
5/24	利家盃(4歳以上)	2000	サノサマー(牡6)	米倉 知	金沢・加藤和宏

笠松競馬

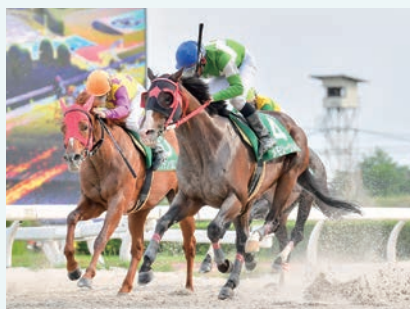


場番号 42#

●笠松巧者メモリージルバ健在

笠松春のメインイベントは、当地最高額の1着賞金1200万円を誇る名物重賞・オグリキャップ記念。しかし、第2回と歴史はまだ浅いものの古馬重賞・飛山濃水杯中、また名古屋の超ベテラン、メモリージルバが“笠松巧者ぶり”をファンにアピールした走りは見逃せない。

フルゲート12頭立ての単勝8番人気。名古屋所属ながら、それまで獲得した5つの重賞タイトルすべてが笠松でのものというメモリージルバも、今年4戦未勝利の成績と、11歳の高齢からか、戦前のファンの評価は低かった。しかし……。新春の重賞・白銀争覇を圧倒的スピード



5月22日 飛山濃水杯 メモリージルバ

でねじ伏せた兵庫のエイシンエンジョイがハイペースで飛ばす流れを、中団や後ろの位置でうかがい、勝負どころの3コーナー手前から外をグングンと上昇。4コーナーでさらに加速し、直線外を矢のように伸びて、重賞6勝目を鮮やかに仕留めた。

「ほんと感謝してます。頭が下がる思いです。距離の短い、長いに関係なく走ってくれる。11歳なのにすごい馬です」。コンビを組んだ友森翔太郎騎手が改めてメモリージルバを称えれば、管理する塚田隆男調教師も目を細めた。「最近はいつ引退させようかとレースのたびにオーナーと相談してたんですよ。今回走らなかったらソロソロかなと思ってたら、この走り。笠松は4コーナーからの走りがすごくいい。暮れまで頑張ってもらおう



4月30日 オグリキャップ記念 マイフォルテ

と思いますね」(塚田調教師)と“引退話撤回”をレース後、即断した。

笠松は6月下旬から8月上旬にかけて馬場改修工事で、レース開催はしばらく休止。例年夏場にひと息入れられるメモリージルバの復帰戦は未定だが、コース巧者の動向は、今年の笠松秋～冬シーズンを大きく左右することだろう。

文●中部地方競馬記者クラブ

●笠松競馬重賞勝ち馬一覧 2020年3月～2020年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/19	マーチカップ(4歳以上)	1900	ニューホープ(牡4)	丸野勝虎	笠松・田口輝彦
4/2	新緑賞(3歳)	1600	エイシンハルニレ(牡3)	岡部 誠	名古屋・角田輝也
4/30	オグリキャップ記念(4歳以上)	2500	マイフォルテ(牡6)	大山真吾	兵庫・田中一巧
5/22	飛山濃水杯(4歳以上)	1400	メモリージルバ(牡11)	友森翔太郎	名古屋・塚田隆男

名古屋競馬

場番号 43#

●名手がほれ込む逸材牝馬

東海春シーズンのトピックも、この馬がやはり中心だった。本誌締切の関係で、3歳ナンパーワン決定戦・東海ダービー(6月9日・名古屋)の結果は分からない。しかし、競馬関係者、ファンの多くから聞こえてくるのは「今年はほぼ決まりだろう」の声。もちろんこの馬とは笠松のニュートアウंगール。三冠レース第1弾の駿蹄賞では、単勝1.3倍の圧倒的人気にしっかり応え、重賞での連勝を4に更新した。

約2カ月ぶりの実戦、そして8キロの馬体減。レース前は不安要因をささやかれたが、終わってみればまったく関係な



5月1日 駿蹄賞 ニュートアウंगール

し。“横綱レース”の完勝劇で飾ってみせた。不利な外枠スタートも、いつものように好スタートを決め、2番手外の絶好位をキープ。鞍上・佐藤友則騎手との折り合いはピッタリとつき、スムーズに流れに乗った。そして勝負どころの2周目3コーナー。馬なりのまま抜群の手ごたえでコーナリングし直線へ。逃げたエイシンハルニレをあっさり抜き去り、悠々2馬身差をつけてゴールした。

「マイナス8キロでちょっと不安もありました。でも調整は順調にここまでできてましたからね。距離は心配ないですし、出たなりの競馬で、いつも通り走ってくれた。どんな競馬もできる馬です」。東海名手のひとり、佐藤騎手がほれ込む、



4月9日 東海桜花賞 ドリームドルチェ

現状でも完成度の高い3歳馬である。ダービーをターゲットに、そこを逆算してローテーションを組み、ずっと調整されたため、今後は未定。しかし夏以降の東海サークル話題の主も、ニュートアウंगールになりそう。

文●中部地方競馬記者クラブ

●名古屋競馬重賞勝ち馬一覧 2020年3月～2020年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/10	中京ベガスターカップ(3歳)	1600	エムエスオープン(牝3)	村上弘樹	名古屋・竹下直人
3/12	名古屋大賞典 JpnⅢ(4歳以上)	1900	ロードブラッソ(牡5)	川田将雅	JRA・藤岡健一
3/26	若草賞(3歳牝)	1400	ステラモナーク(牝3)	下原 理	兵庫・新子雅司
4/9	東海桜花賞(4歳以上)	1400	ドリームドルチェ(牡8)	岡部 誠	浦和・小久保智
4/21	東海クイーンカップ(3歳牝)	1800	ビックバレリーナ(牝3)	大畑雅章	名古屋・今津博之
5/1	駿蹄賞(3歳)	1800	ニュートアウंगール(牝3)	佐藤友則	笠松・井上孝彦
5/4	かきつばた記念 JpnⅢ(4歳以上)	1400	ラブタス(セン4)	幸 英明	JRA・松永昌博

兵庫競馬



場番号 園田51・姫路52#

写真●兵庫県競馬組合

●夏の一番・摂津盃

コロナウィルスの影響で園田競馬のゴールデンウィークは史上初の無観客開催になった。5月6日の第21回兵庫チャンピオンシップJpnⅡはC.ルメール騎手のバーナードループが制してJRA馬が第3回から19連勝を果たした。前日5日に行われた兵庫の“天皇賞・春”にあたる兵庫大賞典、園田1870メートルに、中長距離に自信の10頭が激突した。連覇を狙う2番人気エイシンニシパが好スタートを決めたが、主導権を奪ったのは4番人気ヒダルマ。JRAから転入後12連勝で昨年8月の摂津盃を逃げ切って以来を叩かれ2走目だった。重賞7勝の1番人



5月5日 兵庫大賞典 タガノゴールド

気タガノゴールドが4番手の内につけ、マークするように3番人気の4歳馬ジンギが続く。

逃げるヒダルマを4コーナーで捕まえたエイシンニシパが連覇のゴールを目指すが、外に持ち出したタガノゴールドが鋭く伸びて直線中程で先頭に立ち、3馬身差で重賞8勝目を飾った。ジンギがゴール前でエイシンニシパを外からクビだけ捕まえて2着。この3頭がお盆シリーズ8月14日の摂津盃（園田1700メートル）で再戦があれば盛り上がるだろう。ハンデ戦だけに昨年同様タガノゴールドは回避か。17、18年と連続2着エイシンニシパ、さらに成長するジンギの走りにも注目したい。

●路線変更マイタイザン

18年の園田金盃など中距離重賞を6勝



4月16日 菊水賞 ステラモナーク

しているマイタイザンが3月から短距離路線に乗り換えた。オープン1400メートルを逃げ切った後は東海桜花賞2着、かきつばた記念JpnⅢ・5着など通用しそうだ。兵庫では、9月11日に園田チャレンジカップ（園田1400メートル）、10月9日には兵庫ゴールドカップ（園田1230メートル）などの重賞を予定。今年のそのど金曜ナイターは10月30日まで行われる。

文●池永博省（大阪日刊スポーツ）

●兵庫競馬重賞勝ち馬一覧 2020年3月～2020年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
4/16	菊水賞(3歳)	園田1700	ステラモナーク(牝3)	下原 理	兵庫・新子雅司
5/5	兵庫大賞典(4歳以上)	園田1870	タガノゴールド(牡9)	下原 理	兵庫・新子雅司
5/6	兵庫チャンピオンシップJpnⅡ(3歳)	園田1870	バーナードループ(牡3)	C.ルメール	JRA・高木 登
5/14	のじぎく賞(3歳牝)	園田1700	テーオーブルベリイ(牝3)	川原正一	大井・中道啓二

高知競馬

場番号 55#

写真●高知県競馬組合

●2歳王者の復活！

5月3日に行われた3歳三冠戦線の第1弾・第24回黒潮皐月賞（1400メートル）は2歳王者レイズパワーが復活の勝利を飾った。脚元の状態が安定せず、前走の土佐春花賞では出遅れもあり3着に敗れていたが、鞍上の倉兼育康騎手が「今日は返し馬でいい勝負ができと思った」とレース後にコメントした通り、好スタートから楽々と抜け出し、改めて存在感を示した。元々は北海道デビューで3勝した素質馬。今後も状態を見ながらの出走になりそうだが、順調ならやはり同馬が中心になることは間違いなからう。残念だったのが1番人気で3着に敗



5月3日 黒潮皐月賞 レイズパワー

れたリワードアヴァロン。先行できなかった時の脆さを露呈してしまったが、高知競馬に縁の深いグランシュヴァリエ産駒としてファンの多い馬だけに、また強い姿が戻ってくることを願いたい。

●一番で重賞初制覇！

5月4日に行われた第11回福永洋一記念（1600メートル）は出走馬10頭中、重賞勝ち馬が6頭という豪華なメンバーが集結。その中でウォーターマーズ、サクラレグナム、カネトシピュールが上位人気に推されたが、勝ったのは今回が重賞初制覇となったツクバクロオーだった。カネトシピュールがハイペースで逃げる中、中国のインをキープ。外をまわるサクラレグナム、スペルマロンとは逆に勝負どころもインから進出し、終わっ



5月4日 福永洋一記念 ツクバクロオー

てみれば2着サクラレグナム以下に5馬身もの差をつけての圧勝となった。コース取りの妙があったことは否めないが、高知競馬の3強的存在の3頭をまとめて撃破したのは立派の一語。7月19日のトレノ賞、8月23日の建依別賞と続く夏の重賞戦線で再戦となれば盛り上がりそうだ。

文●風間恒一（中島高級競馬塾）

●高知競馬重賞勝ち馬一覧 2020年3月～2020年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/10	黒船賞JpnⅢ(4歳以上)	1400	ラプタス(セン4)	幸 英明	JRA・松永昌博
3/22	土佐春花賞(3歳)	1300	リワードアヴァロン(牡3)	永森大智	高知・雑賀正光
3/29	御厨人窟賞(4歳以上)	1400	カネトシピュール(牝5)	佐原秀泰	高知・目迫大輔
4/19	二十四万石賞(4歳以上)	1900	ウォーターマーズ(セン6)	西川敏弘	高知・大関吉明
5/3	黒潮皐月賞(3歳)	1400	レイズパワー(牝3)	倉兼育康	高知・細川忠義
5/4	福永洋一記念(4歳以上)	1600	ツクバクロオー(牡5)	宮川 実	高知・打越勇児

佐賀競馬



場番号 61#

●地元で初黒星

今年の3歳戦線は2歳時に九州ジュニアチャンピオンを制したミスカゴシマが快進撃を続け、九州皐月賞まで重賞5勝。九州ダービー栄城賞では地元無敗での佐賀二冠達成なるか大いに注目が集まった。しかし、3コーナーで前の争いを一気に交わして先頭に立ったトップレベルがエアポケットに6馬身差をつけ圧勝。ミスカゴシマは3着に終わり、春の二冠はミスカゴシマとトップレベルが分け合うことになった。ミスカゴシマの1強体制は九州ダービー栄城賞で崩れたが、九州皐月賞と九州ダービー栄城賞の上位4頭は同じ馬が占めており、3歳トップクラスの陣容は変化がなかった。三冠最終戦のロータスクラウン賞は今年は8月16日と、昨年よりも約半月早い開催となっており、春の有力馬がそのまま激突の構図となりそうだ。

●ハッピーハッピー巻き返しへ

古馬戦線では昨年この路線をリードしていたグレイトパールが、今年に入って未勝利と苦戦している。替わって台頭してきたのがキングプライドで、1、2月に

準重賞を計2勝して迎えたはがくれ大賞典で、このレースの3連覇を狙って遠征してきたエイシンニシパ（兵庫）を1馬身半降して勝利すると、佐賀スプリングカップも2番手からの抜け出しで勝利。春の中距離重賞を2勝している。同馬は夏に弱い体質のため、そのまま休養入りの予定だが、秋冬の重賞路線でも活躍が期待されるところだ。

佐賀唯一の古馬牝馬重賞の佐賀ヴィーナスカップは、昨年は地元のハッピーハッピーが制したが、連覇を狙った今年は7着敗退。勝ったジェッシージェニー（大井）を筆頭に、上位3頭は遠征馬が占めた。ハッピーハッピーはA級でも距離は



5月31日 九州ダービー栄城賞 トップレベル

問わずに牡馬を相手に活躍している。7月の中距離の佐賀王冠賞、短距離の吉野ヶ里記念が開催されるが、どちらに向かっても有力馬の一頭に数えられるだろう。

文●上妻輝行

●佐賀競馬重賞勝ち馬一覧 2020年3月～2020年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/8	飛燕賞(3歳)	1400	ミスカゴシマ(牝3)	石川慎将	佐賀・平山宏秀
3/15	はがくれ大賞典(3歳以上)	2000	キングプライド(牡8)	川島 拓	佐賀・土井道隆
4/5	ル・プランタン賞(3歳牝)	1800	ミスカゴシマ(牝3)	石川慎将	佐賀・平山宏秀
4/26	佐賀スプリングカップ(3歳以上)	1800	キングプライド(牡8)	川島 拓	佐賀・土井道隆
5/3	佐賀皐月賞(3歳)	1800	ミスカゴシマ(牝3)	石川慎将	佐賀・平山宏秀
5/24	佐賀ヴィーナスカップ(4歳以上牝)	1400	ジェッシージェニー(牝5)	真島正徳	大井・福永 敏
5/31	九州ダービー栄城賞(3歳)	2000	トップレベル(牝3)	兒島真二	佐賀・三小田幸人

競馬場別
騎手リーディング Top3

2020年1月1日～5月10日

ばんえい競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	鈴木恵介	372	67	39	34	18.0	28.5	28,584,500
2	島津 新	295	51	28	30	17.3	26.8	13,375,000
3	阿部武臣	363	50	57	49	13.8	29.5	19,689,000

ホッカイドウ競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	石川 倭	64	11	9	10	17.2	31.3	9,948,000
2	阪野 学	37	11	5	3	29.7	43.2	6,668,000
3	岩橋勇二	47	9	5	5	19.1	29.8	8,238,000

岩手競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	村上 忍	213	43	25	34	20.2	31.9	24,901,000
2	高松 亮	214	39	34	22	18.2	34.1	25,473,000
3	山本政聡	195	30	21	27	15.4	26.2	16,195,000

金沢競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	藤田弘治	124	17	32	18	13.7	39.5	11,930,000
2	中島龍也	94	17	11	17	18.1	29.8	9,421,000
3	堀場裕充	133	16	23	8	12.0	29.3	7,833,000

笠松競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	筒井勇介	270	50	42	43	18.5	34.1	22,796,000
2	渡邊竜也	236	43	47	37	18.2	38.1	19,213,000
3	佐藤友則	250	37	37	26	14.8	29.6	20,761,000

名古屋競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	岡部 誠	332	97	74	37	29.2	51.5	68,200,000
2	丸野勝虎	297	50	40	39	16.8	30.3	30,923,000
3	大畑雅章	325	45	36	35	13.8	24.9	30,935,000

兵庫競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	吉村智洋	440	122	77	51	27.7	45.2	106,899,500
2	下原 理	399	81	73	58	20.3	38.6	120,783,000
3	田中 学	352	55	65	47	15.6	34.1	65,049,000

高知競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	赤岡修次	279	106	52	35	38.0	56.6	73,860,000
2	永森大智	293	56	53	30	19.1	37.2	43,866,000
3	西川敏弘	318	48	51	39	15.1	31.1	48,230,000

佐賀競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山口 勲	276	70	48	35	25.4	42.8	34,352,000
2	石川慎将	346	40	38	46	11.6	22.5	29,021,000
3	倉富隆一郎	288	40	36	26	13.9	26.4	23,415,500

ジョッキーインタビュー

取材・文●浅野靖典

石川倭騎手はデビュー7年目の2019年に120勝を挙げて、ホッカイドウ競馬のリーディングを獲得。2位の桑村真明騎手に34勝の差をつける圧倒的な成績を残した。

2017年が69勝で、2018年が54勝。一気に飛躍した要因は何だったのだろうか。

いちばんの要因は、ケガをしなかったことです。これまでは毎年ではありませんが、ケガすることが多くてシーズンを通して騎乗できることが少なかったんです。2年前も3年前もリーディング争いに参加していたのですが、結果的に途中で脱落するかたちになってしまいました。

シーズンをフルに戦って得た初めてのトップ。気持ちに変化はあるのだろうか。

どうでしょう。自分としてはあまり変わらないように思います。でも佐々木竹見カップに呼んでいただいたときに「リーディングを獲得といいことがあるんだな」と実感しましたね。と同時に、自分が門別競馬場の名前を背負っていると自覚した面がありました。これは以前から遠征したときなどに感じていましたが、それがより強まったといえますか。

さらにリーディングジョッキーには、地方競馬ジョッキーズチャンピオンシップの出場権もついてくる。

じつは去年の秋、リーディングが確実になっていちばんうれしかったのが、そのチャンスを得られたこと。ワールドオールスタージョッキーズの舞台にすごく憧れていました。本来なら5月から始まっていたと思うんですが……（インタビュー後にワールドオールスタージョッキーズの取り止めが発表になりました）。

同時に、夏はJRAの北海道開催に遠征するチャンスがある季節でもある。2歳馬が中心にはなるが、石川騎手は2017年のエルムステークス（GⅢ）に、オヤコダカで挑戦したことがある。

正直なところ、どこまでやれるかという感じでしたね。でもチャンスがないわけではないという思いもありました。でもJRAへの遠征となると、2歳馬のほうが勝負になる可能性が高いですね。毎年、デビュー



写真●写真のトライ

アークヴィグラス（奥）でDG初制覇となったエーデルワイス賞

前の2歳馬にたくさん乗りますが、どの馬が芝に合いそうとか、そういうところも気にしながら調教しています。

石川騎手は2019年までにJRAで35戦1勝。ダートグレードレースでは、2018年にエーデルワイス賞（JpnⅢ）をアークヴィグラスで制している。

もともといいスピードを持っていると感じていました。僕が初めて乗ったレースは5着でしたが、そのときは小野（望）先生と相談して、砂をかぶらせる競馬をさせたんです。だからあれは収穫がある5着。そのおかげで、フルールカップとリリーカップではインコースから抜けてくることができました。でもエーデルワイス賞での16番はイヤな枠だなと思いましたね。短距離ですからロスが大きいですし、展開に左右されやすくなりますし。でもゲートが開いたら落ち着いた流れになったので、自分からポジションを取りに行くことができました。結果的にいい枠になりましたね（笑）。エーデルワイス賞は2歳牝馬限定で、JRAの馬は初めてのナイター。それに門別の砂はJRAより粒が大きいので、馬がひるみやすい面があると思います。そのあたりが、このレースで地元の馬が強い理由のひとつになっているのかなと思います。

アークヴィグラスはそのあと南関東に移籍して重賞を連勝。その実力を改めて証明するかたちになった。

門別のなかでは間違いなくトップだと思っていたので、南関東でも通用すると思っていました。北海道も南関東も鍛えかたはそれほど変わらないとは思いますが、こちらは坂路がありますからね。僕がデビューしたときには坂路があったので以前とは比べられませんが、平坦なところで走らせるよりは後肢に筋肉が付くと思います。ただ、坂路にはコーナーがないので、なかにはカーブでのハミ受けが身に付かない馬もいますね。それも含めて、2歳馬の調教はいろいろなことを教えるのがメイン。何もわかっていない馬に鞍をつけるところから始めるわけですから、神経も使います。

ホッカイドウ競馬においては、競馬が開催されていない冬場も重要な時期。当然、そのためには人手が必要になるのだが、石川騎手は3年目（2015年）に南関東で期間限定騎乗をした。

あのときは（所属の）米川（昇）先生から南関東に行く話を持ち掛けられました。勉強してきなさいというニュアンスで。それで行かせてもらったのですが、確かに勉強になりましたね。レースの流れが違うの

石川 倭（北海道）

いしかわ やまと



1995年4月10生まれ おひつじ座 B型
富山県出身 米川昇厩舎
初騎乗／2013年4月24日
地方通算成績／3,904戦501勝
服色／白・緑山形一本輪、緑袖
重賞勝ち鞍／エーデルワイス賞JpnⅢ、北海優駿（ダービー）、フリーダースゴールドジュニアカップ、旭岳賞（3回）、星雲賞（2回）など18勝
※2020年5月20日現在

はもちろんですが、考えかたも心構えも違うと感じました。そのなかで学んだことのひとつが「体を柔らかくする意識を常にもつ」ということ。南関東の騎手のみなさんが、サウナのなかとか、それ以外のちょっとしたところでもコツコツとストレッチをしている姿を見て、その大切さに気付かされました。今では自分がレースに向かうときのルーティンのひとつになっています。

石川騎手は25歳。「前年、所属競馬場でリーディング5位以内の25歳以下の若手騎手」のカテゴリーで、南関東で期間限定騎乗ができるチャンスがある。

先生と相談してからになります。今度の冬はどこかに行きたいと考えています。現状の僕の能力でどこまでやれるのか、それを試してみたい気持ちもありますね。それと海外にも行ってみたいと思っています。実際にそういう提案をしていただいたこともありますし、水野翔騎手や山本咲希到騎手も海外に行きましたからね。言葉が通じないところで馬のことを学べたら、長い目で見てプラスになると思うんです。やっていることは基本的に同じですから何とかなるでしょうし、人間としてという面でも成長するところがあると思いますから。

そのためにも、まずは今シーズンを無事に終えることが第一になる。

昨年の勝ち星の多くは、自分の厩舎の馬で挙げたもの。自分が調教した馬で勝ったときは達成感が違います。ネット投票のおかげで賞金が上がっているのも、本当にありがたいことだと感じています。今シーズンも体のケアをしっかりと、最後まで離脱することなく乗りたいですね。その結果としてリーディングがついてくればいいかな、というくらいの気持ちでいこうと思っています。

浅野靖典的

門別競馬場の歴史

主要各都市で実施された
ホッカイドウ競馬

門別競馬場の前身は『門別軽種馬トレーニングセンター』。JRAなどと同じように所属馬と競馬関係者が一カ所に集まる施設として、1985（昭和60）年に完成したものだ。それ以前は、競馬が開催されていない冬になると牧場に移動する馬も少なくなく、厩舎スタッフは別の仕事に就くという例が多かった。しかしそれでは手間が多くなる上に、競馬関係者の生活も不安定。拠点ができただけでの最大のメリットは、人間の引っ越しが最小限で済むようになったことだろう。

北海道には現在の競馬法が施行された1948（昭和23）年以降、JRAで2カ所、地方競馬で5カ所（ばんえい含む）の競馬場が存在していたが、現在ではJRAも地方競馬も2カ所ずつになっている。

それ以前には道内各地に競馬場があった。とくに日高地方は馬産地だから競馬開催も容易。地方競馬法に則った開催が実施されていたのは静内に存在していた「日高



1948（昭和23）年4月12日の静内競馬出馬表

競馬場”だけだが、三石と浦河などにも競馬場があって、馬券発売を伴った競馬が実施されていた。また、そのほかの場所でも“余興”のような形で開催されていたようだ。

『地方競馬史』に残っている日高競馬場は、昭和3年に静内の市街地に近い場所に作られ、1年に1～2回の開催があった。その当時は、苫小牧に行くにも鉄道で3時間ほどかかっていたのだから、娯楽がほとんどない時代。それだけに開催日を心待ちにしていた人は多かったことだろう。

しかし日高競馬場は1939（昭和14）年に施行された軍馬資源保護法によって廃止されてしまった。それでも競馬場のコースがそのまま、近くには馬がたくさんいるのだから、公式ではない競馬が行われていた。

それは戦後も続き、1948年にも開催があったという記録が残っている。このときの主催者は“実行委員会”で、入場料には馬券代が含まれているという形だった。

その後、静内の競馬場は市街地に近いこともあって住宅地などに転用。静内以外の場所でも続けられていた“草競馬”も徐々に減少し、最後まで残っていた『浦河競馬祭』も2019年限りで休止されることになってしまった。

だが日高地方の競馬の賑わいは、門別競馬場が誕生したおかげで、かつてよりも多い日数でもたらされている。門別競馬場に競走馬を預託している人のなかには、牧場関係者が多数。そういった人たちの社交場になっている点も、門別競馬場の特徴のひとつに挙げられる。

しかしながら日高地方は広く、門別競馬場から静内まではおよそ40km。それを補完するために、JRAのウインズ静内でホッカイドウ競馬の馬券を発売。そして2001



日高競馬場2コーナー跡地（新ひだか町静内山手町5丁目・山手小学校付近）

年には『Aiba 静内』という名称の直営施設が作られた。

そのAiba 静内の位置は、かつての日高競馬場の敷地内。昔の地図と照合すると、ゴールの手前付近にあたる。おそらく偶然の一致なのだろうとは思いますが、廃止された競馬場の跡地に数十年の時を経て場外発売所が作られたのは、とても不思議なめぐりあわせだ。しかしAiba 静内やその付近には「日高競馬場跡地」を示す標識や看板などは設置されていない。

静内は地理的に馬産地の中心といえる場所だが、戦後に日高競馬場が再興されなかったのは、町の規模を考えると仕方ないことだったのかもしれない。1948年以降にばんえい以外の地方競馬が実施されたのは、函館、室蘭、小樽、札幌、岩見沢、旭川、帯広、北見。いずれも多くは労働者を抱えている都市だ。それが時の流れとともに様相が変わったことで門別競馬場に集約されたのは、自然のなりゆきだと思える。

1997年に門別競馬場が開設された当初は、年末年始にも開催があった。現在は4月中旬から11月初旬までの日程で、基本的にすべてナイター。2歳馬の育成拠点としての存在感が大きくなっている門別競馬場では、2020年11月3日に『第1回JBC2歳優駿』が開催される予定だ。

青春プレイバック

山口竜一 調教師



写真●いちばん

【騎手時代】1981～2013年、宇都宮→北海道に所属して地方通算19,804戦2,843勝（中央151戦7勝）。北関東ダービー（とちぎダービー）4回、とちぎ大賞典2回、エーデルワイス賞JpnⅢ2回、北海道2歳優駿JpnⅢなど重賞52勝。写真はナスノステージワンで制した97年北関東ダービー。

北関東（とちぎ）ダービー 4勝、宇都宮から北海道へ

2017年に行われたリリーカップ。山口竜一厩舎が送り出したプリムラジュリアンには、浦和の加藤和博騎手が騎乗した。

その出馬表を見たときに「なんでわざわざ」と思ったのだが、現地の記者から「門別は騎手が少ないから、今後を含めてという意味があったようです」と聞いた。

山口竜一調教師は、もともと栃木県・宇都宮競馬の騎手。拠点としていた宇都宮、そして同じ栃木の足利、さらに北関東競馬を形成していた高崎で2000以上の勝利を挙げた。そのなかには北関東ダービー（とちぎダービー）での4勝が含まれている。しかしその3つの競馬場は、2005年3月までに廃止されてしまった。

北関東の競馬が廃止されたとき、所属していた大半の騎手は引退。当時の栃木には、2000勝ジョッキーが山口騎手のほか

に、早川順一、平澤則雄、鈴木正、内田利雄と5名もいた。しかし廃止後も現役を続けたのは、山口騎手と内田騎手の2名だけ。山口騎手はホッカイドウ競馬への移籍という道を選んだ。

そこでようやく合点が行った。ホッカイドウ所属の上位の騎手は、重賞になると所属厩舎を優先したり、先約があったりというケースがほとんど。所属騎手がおらず、さらに“生え抜き”ではない山口調教師にとっては、そこが課題になりがちだ。そのために、同じ栃木の足利所属だった加藤騎手の起用を考えたのだろう。

プリムラジュリアンはリリーカップのあと、盛岡の知床賞に出走。そのとき騎乗していた大井の矢野貴之騎手は、もともと高崎競馬の所属だった。そのときにも北関東の絆が残っていることを感じさせた。

7月→9月 注目レース 門別競馬 データ分析

4月～11月に開催されているホッカイドウ競馬は、8月がシーズンの折り返し。2歳重賞は6月30日の栄冠賞で始まり、ブリーダーズゴールドジュニアカップを経

実施日	レース名(条件)	距離	前年の勝ち馬(所属)
7/2(木)	グランシャリオ門別スプリント(3歳以上)	1000m	メイショウアイアン(北海道)
7/16(木)	ノースクイーンカップ(3歳以上牝)	1800m	クレイジーアクセル(大井)
7/23(祝・木)	王冠賞(3歳)	1800m	リンゾウチャネル(北海道)
7/28(火)	ブリーダーズゴールドジュニアカップ(2歳)	1700m	ヨハネスボーイ(北海道)
8/13(木)	ブリーダーズゴールドカップJpnⅢ(3歳以上牝)	2000m	アンデスクイーン(JRA)
9/3(木)	サッポロクラシックカップ(2歳)	1700m	ヘイセイメジャー(北海道)
9/10(木)	旭岳賞(3歳以上)	2000m	スーパーステーション(北海道)

※ダートグレード、H1、H2重賞のみ

て、8月からは牝馬路線もスタート。北斗盃、北海優駿(ダービー)の二冠を戦ってきた3歳は、王冠賞が最終決戦。3歳以上では、牝馬はブリーダーズゴールドカップJpnⅢが行われ、道営記念路線では旭岳賞

が注目レースになる。ここでは、重賞格上げとなった15年以降、過去5回のグランシャリオ門別スプリント、現在の1800mに距離短縮された15年以降、過去5回の王冠賞から傾向を探っていく。

7/2 グランシャリオ門別スプリント

●田中淳司厩舎と北海道SC組

◇単勝1番人気は【2-1-2-0】で、2～3番人気のうち最低1頭が3着以内に入線。3連単では、5→3→1番人気で決まった16年の1万7220円が最高で、その他4年は3～4桁配当(15年は2着同着のため3連単の配当は2通り)と、波乱は少ない。

◇その年の北海道スプリントカップJpnⅢ・

5着以内馬は【3-2-2-0】とすべて3着以内。また5月初旬に実施される1200mの「○○○○プレミアム」競走(今年は5月5日のキンシャサノキセキ・プレミアムが該当)3着以内馬も【1-3-2-4】とのべ6頭が3着以内に入っている。19年は北海道スプリントカップJpnⅢ・2着メイショウアイアンが勝利し、同4着馬が2着、3着には5月上旬のプレミアム競走2着馬が入線した。この2レースの上位馬以外で3着以内に入った4頭中3

頭は、1～2走前までJRA所属。例外の1頭は長期休養明けだった。

◇3着以内が複数回ある厩舎は、田中淳司【3-1-3-8】のみで、毎年1頭以上が3着以内に入っている。騎手では、同厩舎所属の岩橋勇二が5回すべて騎乗し1勝、3着2回の好成績で、厩舎所属の後輩・落合玄太は、昨年のこのレースで重賞初制覇を果たしている。阪野学は馬券に絡んだ2回(1、2着各1回)とも同厩舎の馬だった。

	枠番	馬番	馬名(所属)	性齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
19.7.4 門別1000m 曇・不良 12頭	2	2	メイショウアイアン(北海道)	牡9	56	落合玄	田中淳	R0.58.6	3	7-7	北海道SC JpnⅢ②	A1下特別③
	6	7	ショコラブラン(北海道)	牡7	56	吉原寛	小野望	クビ	1	4-2	北海道SC JpnⅢ④	東京スプリント JpnⅢ④
	7	10	タイセイエクレール(北海道)	牡6	56	宮崎光	田中淳	1/2	8	6-6	北海道SC JpnⅢ⑨	キンシャサノキセキ・プレミアム②
18.7.5 門別1000m 雨・不良 13頭	7	10	カツゲキライデン(北海道)	牡7	56	桑村真	廣森久	1.00.0	2	1-1	北海道SC JpnⅢ⑤	キンシャサノキセキ・プレミアム②
	7	11	メイショウアイアン(北海道)	牡8	56	阪野学	田中淳	クビ	3	6-6	A1下特別①	JRA1600万下⑩
	5	6	タイセイバンデット(北海道)	牡7	56	岩橋勇	田中淳	3	1	2-2	兵庫GT JpnⅢ(取消)	A1下特別①
17.6.21 門別1000m 雨・稍重 13頭	3	3	タイセイバンデット(北海道)	牡6	56	岩橋勇	田中淳	1.00.6	1	1-1	A4下特別①	JRA500万下①
	4	5	レッドペリグリ(北海道)	牡6	56	伊藤千	佐久雅	1	4	6-4	A1下特別②	キンシャサノキセキ・プレミアム③
	8	13	トウカイビジョン(北海道)	牡7	56	服部茂	田中正	1 1/2	3	7-6	北海道SC JpnⅢ⑤	A1下特別③

7/23 王冠賞

●二冠の結果が直結する

◇単勝1番人気は【2-1-1-1】。3着以内はすべて5番人気以内だが、1番人気に一本被りの傾向(15～17、19年が1.1～1.3倍、18年は2.2倍)があるためか、2番人気以下が勝った16年は3連単で5千円台、17、18年は2万円台と必ずしも堅く収まてはいない。

◇3着以内馬15頭中12頭が、北斗盃、北海優駿とも出走しており、二冠とも不出走は2頭のみ。

◇北海優駿1着のリンゾウチャネルが勝ち、同3着馬が2着、同2着馬が3着だった19年をはじめ、北海優駿1～3着馬は【3-3-4-3】(不出走2頭)で13頭中10頭が3着以内。さらに北斗盃でも3着以内だった馬は【2-3-2-0】とすべて複勝圏内に入っている。

◇北斗盃、北海優駿とも3着以内の馬が不在だった18年、1頭だけの17年は、王冠賞が3歳重賞初挑戦という馬が3着以内に1頭入線し、17年はスーパーステーションが勝利。この両年は、前述のとおり荒れており、今年もここまでの二冠の

結果には注目したい。

◇厩舎では、【1-2-0-3】の堂山芳則、【2-1-0-2】の角川秀樹が好成績。過去10回でも堂山芳則4勝、角川秀樹3勝となっている。

◇過去10回、騎手で複数回勝利は現役では阿部龍(14、16、17年)のみで、初制覇の14年は19歳。11年の岩橋勇二は28歳、15年の川原正一が56歳、その他の5騎手は40代で、30代での勝利はなし(今年のレース当日に30代なのは、桑村真明、阪野学、松井伸也、亀井洋司、黒澤愛斗、宮平鷹志の6名)。

	枠番	馬番	馬名(所属)	性齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
19.8.1 門別1800m 晴・良 10頭	8	9	リンゾウチャネル(北海道)	牡3	56	五十冬	堂山芳	1.54.5	1	1-1-1-1	北海優駿①	北斗盃①
	7	7	シベリアンプラウド(北海道)	牡3	56	岩橋勇	田中淳	クビ	3	2-2-2-2	2走前(北海優駿③)	3走前(北斗盃③)
	2	2	リンノレジェンド(北海道)	牡3	56	井上俊	林和弘	1	2	3-3-3-3	北海優駿②	北斗盃⑤
18.7.26 門別1800m 晴・良 11頭	5	5	クロスウィンド(北海道)	牝3	54	坂下秀	若松平	1.57.5	2	2-2-1-1	北海優駿②	北斗盃⑭
	8	10	マッドドッグ(北海道)	牡3	56	井上俊	林和弘	クビ	5	4-4-3-3	北海優駿⑤	※5月に船橋から転入
	3	3	マイネルセボン(北海道)	牡3	56	阪野学	田中正	1/2	4	6-6-4-5	C3級以下①	※5月にJRAから転入
17.7.27 門別1800m 曇・良 10頭	4	4	スーパーステーション(北海道)	牡3	56	阿部龍	角川秀	1.56.7	5	2-2-1-1	B2級以下②	C1級以下①
	6	6	ストーンリバー(北海道)	牡3	56	桑村真	堂山芳	7	3	7-7-6-7	2走前(北海優駿⑤)	3走前(北斗盃②)
	3	3	ベンテンコソウ(岩手)	牡3	56	村上忍	菅原勲	3	1	5-5-4-4	北海優駿①	北斗盃①

門別競馬場

サイヤーランキング

取得賞金 & 勝利数

2018年4月1日～2020年3月31日

取得賞金ランキング

勝利数ランキング

■総合(1825レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
サウスヴィグラス	112,832	73	572	70	アークヴィグラス
カネヒキリ	66,734	36	183	23	スーパーステーション
シニスターミニスター	66,213	26	201	27	ヤマニンアンプリメ
ヴァーミリアン	41,810	34	272	28	ステージインパクト
パイロ	39,964	27	277	35	タービランス
プリサイスエンド	39,285	38	200	29	イッキトウセン
ダノンパレード	38,165	13	36	6	ウィンターフェル
タートルボウル	37,996	12	117	19	アンデスキーン

■外1000m(507レース)+外1200m(822レース)

サウスヴィグラス	98,328	68	499	65	アークヴィグラス
シニスターミニスター	58,199	21	165	24	コーラルツッキー
プリサイスエンド	34,404	34	174	29	ダモンデ

■内1500m(54レース)+内1600m(57レース)

ダイワメジャー	6,506	1	7	3	ディナスティア
カネヒキリ	6,100	3	7	4	スーパーステーション
サウスヴィグラス	5,850	2	16	12	サザンヴィグラス

■外1700m(261レース)+外1800m(110レース)

ダノンパレード	31,560	6	9	3	ウィンターフェル
キズナ	25,000	1	1	1	キメラヴェリテ
ヴァーミリアン	14,904	10	59	10	ステージインパクト

■2歳総合(578レース)

サウスヴィグラス	68,830	38	179	32	アークヴィグラス
ダノンパレード	35,275	6	26	5	ウィンターフェル
シニスターミニスター	34,000	10	48	9	コーラルツッキー
スズカコーズウェイ	26,610	17	92	17	プリモジョーカー
スウェプトオーヴァーボード	26,235	17	60	14	エムオータイショウ

※2000m(14レース)はレース数が少ないため割愛した

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝利数	活躍馬(勝利数順)
サウスヴィグラス	73	72	572	70	47	ブルーフォース
ロードカナロア	40	29	143	30	19	フロルセレジエイラ
フリオーソ	40	26	256	33	23	アレグロ
プリサイスエンド	38	24	200	29	18	ダモンデ
カネヒキリ	36	19	183	23	14	スーパーステーション
ヴァーミリアン	34	32	272	28	15	オールウェイ
ベークアバド	30	42	347	30	13	ネイチャーキング
タイムパラドックス	30	23	200	26	16	タイムゴールド

サウスヴィグラス	68	64	499	65	43	ブルーフォース
プリサイスエンド	34	19	174	29	17	ダモンデ
ロードカナロア	32	27	127	28	17	フロルセレジエイラ

ディーブプリランテ	5	0	11	5	4	ミコサン
ディーブインパクト	4	0	6	4	3	ヒシハムザリパー
キングズベスト	3	3	13	3	1	リコーサルトガ

キングズベスト	10	7	59	8	3	リウオード
ヴァーミリアン	10	6	59	10	5	ステージインパクト
ディーブインパクト	10	6	54	12	5	ヒシハムザリパー

サウスヴィグラス	38	27	179	32	26	アークヴィグラス
フリオーソ	19	6	130	25	16	フリタイム
タイムパラドックス	17	14	102	15	11	タイムゴールド
プリサイスエンド	17	13	109	19	12	バイクミレー
スズカコーズウェイ	17	9	92	17	13	プリモジョーカー

重賞勝ち馬の血統を読む

文●平出貴昭(サラブレッド血統センター)

北斗盃
レッドカード2017年2月22日生まれ 牝 鹿毛 北海道・林和弘厩舎
生産・パンプー牧場(浦河郡浦河町)

キンシャサノキセキ(AUS) 鹿毛2003	フジキセキ 青鹿毛1992	サンデーサイレンス(USA) ミルレーサー(USA)
	ケルトシャーン(USA) 鹿毛1994	Pleasant Colony Featherhill
キューバンリズムII(USA) 鹿毛2005	Kingmambo 鹿毛1990	Mr. Prospector Miesque
	クルナコーヴァ(IRE) 鹿毛1999	Sadler's Wells Bermuda Classic

ホッカイドウ競馬の3歳三冠の第1弾・北斗盃を勝ったレッドカード。昨年のプロッサムCで11頭中10番人気ながら2着に入り、シーズンオフ期間は林和弘厩舎所属のまま川崎、水沢を転戦。前走の留守杯日高賞(水沢)で2着に入っていた。

父キンシャサノキセキはその父フジキセキが豪州にシャトル供用されていた時に種付けされて生まれた豪州産馬。9月24日の遅生まれながら、3歳時にはNHKマイルCで3着に入るなど、早い時期からトップクラスで活躍を見せ、5歳夏の函館スプリントSで重賞初勝利。7歳時の高松宮記念で、南半球産の日本調教馬としては初となるGI制覇を果たし、翌年も勝利して同

レース初の連覇を果たしている。

初年度産駒がデビューした2014年にはファーストシーズンサイヤーランキング2位と好スタート。2年目産駒シュウジが小倉2歳Sで重賞初制覇を果たし、その後も、京王杯2歳Sを勝ち朝日杯フューチュリティS2着のモンドキャンノ、函館2歳Sのカシアス、ファンタジーSのペルーガ、ダートではさきたま杯など重賞3勝のサクセスエナジーなど、2歳戦やダートを中心に重賞勝ち馬を送っていた。

ところが、今年は産駒の傾向にやや変化が見られている。ガロアクリークがスプリングSで初めて芝1800m以上の重賞を勝利。同馬は皐月賞でも3着に入り、産駒で初めて、JRAのクラシックレースで掲示板に載った。さらに、ルフトシュトロームのニュージーランドTは産駒初の芝1600m重賞勝利だった。

レッドカードを含めた現3歳世代はガロアクリーク、ルフトシュトロームの他にも、京都芝1600mのレコードタイムを更新(1分32秒2)したチュウワノキセキ、水沢のスプリングCを勝ったフレッチャビアンカなど活躍馬が続出しており、総合世代別ランキングは2世代目と並ぶ8位(5月24日現在)にランクしている。ちなみ



北斗盃で重賞初制覇となったレッドカード

にレッドカードはガロアクリークやシュウジと同じく母の父キングマンボで、母の父キングカメハメハのルフトシュトロームとも似た配合パターンとなっている。

レッドカードの母系の血統を見てみよう。母キューバンリズムIIは英国で4戦して2着1回の未勝利馬。祖母クルナコーヴァは仏GIマルセルブザック賞で3着がある実力馬だ。3代母バミュダクラシックは愛GIII勝ち馬で、その産駒に英GIコロネーションSを勝ちGI仏1000ギニーで2着したシェイクザヨークがいる筋の通った牝系の出身だ。

生産者のパンプー牧場は、近年では2016年高松宮記念を勝ったビッグアーサーを生産。レッドカードの母キューバンリズムIIはビッグアーサーの母シャボナと同じキングマンボ×サドラーズウェルズで、繁殖牝馬としての期待の高さが窺える。レッドカードの今後はもちろん、2歳のダイワメジャー牝馬、当歳のパンプーエール牝馬が控えるその後の産駒も楽しみだ。

DIRT GRADE DATA 作戦

第22回 ジャパント ダービー

Jpn I

7月8日(水)

3歳 大井2000m
1着賞金4500万円
フルゲート16頭

19.7.10 大井 2000m 曇・稍重	7 ⑫ クリソペリル(JRA)	牡3	56	川田将雅	2.06.1	1人
	4 ⑤ デルマールヴル(JRA)	牡3	56	戸崎圭太	3	4
	3 ④ ミューチャリー(船橋)	牡3	56	御神本訓史	アタマ	5
	単勝⑫ 120円 枠連複(4-7)440円 馬連複(5-12)470円 枠連単(7-4)540円 馬連単(12-5)540円 3連複(4-5-12)1,370円 3連単(12-5-4)2,760円					
18.7.11 大井 2000m 晴・良	1 ① ルヴァンスレーヴ(JRA)	牡3	56	M.デムーロ	2.05.8	1人
	8 ⑭ オメガパフューム(JRA)	牡3	56	川田将雅	1 1/2	4
	3 ③ グレートタイム(JRA)	牡3	56	C.ルメール	クビ	3
	単勝① 220円 枠連複(1-8)1,030円 馬連複(1-14)1,000円 枠連単(1-8)1,550円 馬連単(1-14)1,510円 3連複(1-3-14)1,560円 3連単(1-14-3)6,060円					
17.7.12 大井 2000m 晴・良	3 ④ ヒガシウィルウィン(船橋)	牡3	56	本田正重	2.05.8	5人
	5 ⑧ サンライズソア(JRA)	牡3	56	川田将雅	クビ	4
	3 ③ タガノディゴ(JRA)	牡3	56	川島信二	1	2
	単勝④ 1,020円 枠連複(3-5)940円 馬連複(4-8)3,080円 枠連単(3-5)1,770円 馬連単(4-8)7,500円 3連複(3-4-8)3,050円 3連単(4-8-3)28,450円					

●近2年は実力があつた1番人気馬が勝利

過去5年の単勝1番人気は2勝、2、3着各1回。優勝したのは2019年のクリソペリルと18年のルヴァンスレーヴだ。この2頭は同年冬のチャンピオンズカップで古馬を撃破しており、図抜けた実力があつた。

一方、17年は1番人気サンライズソアが6着に敗れた。同馬も能力は高かったが、適性が左回り(特に東京コース)に偏りすぎていた。1番人気馬に限らず、大井2000mの適性は重要になってくる。ただ、3歳のこの時期ではハッキリとはわからないので、想像に頼ることになる。基本的にはここまでの実績・パフォーマンスで能力・適性を見極めるしかない。

第24回 スパーキング レディーカップ

Jpn III

7月15日(水)

3歳以上牝馬 川崎1600m
1着賞金2500万円
フルゲート14頭

19.7.4 川崎 1600m 曇・不良	3 ④ ファッションスタ(JRA)	牝5	55	川田将雅	1.40.6	1人
	2 ② サルサディオネ(JRA)	牝5	55	岩田康誠	4	6
	6 ⑨ ローレイ(大井)	牝5	55	本田正重	6	11
	単勝④ 270円 枠連複(2-3)1,330円 馬連複(2-4)1,910円 枠連単(3-2)1,910円 馬連単(4-2)2,570円 3連複(2-4-9)85,650円 3連単(4-2-9)276,110円					
18.7.5 川崎 1600m 曇・良	3 ③ リエノテソーロ(JRA)	牝4	55	吉田隼人	1.40.8	3人
	8 ⑫ オウケンビリーヴ(JRA)	牝5	55	C.ルメール	1/2	1
	6 ⑨ ラビットラン(JRA)	牝4	57	川田将雅	1 1/2	4
	単勝③ 440円 枠連複(3-8)1,210円 馬連複(3-12)1,270円 枠連単(3-8)2,020円 馬連単(3-12)2,470円 3連複(3-9-12)2,090円 3連単(3-12-9)11,410円					
17.7.6 川崎 1600m 晴・稍重	6 ⑦ アンジュデジール(JRA)	牝3	52	横山典弘	1.41.6	2人
	7 ⑩ ララベル(大井)	牝5	55	真島大輔	1 1/2	4
	4 ④ タイニーダンサー(JRA)	牝4	57	内田博幸	3	5
	単勝⑦ 440円 枠連複(6-7)1,870円 馬連複(7-10)2,000円 枠連単(6-7)3,460円 馬連単(7-10)3,650円 3連複(4-7-10)6,580円 3連単(7-10-4)26,480円					

●単勝は堅い傾向

過去5年の優勝馬はすべてJRA勢。単勝1番人気は2勝、2番人気は2勝で、3番人気は1勝と単勝は堅い傾向だ。2015、16年は前走がさきたま杯だった馬が勝利しており、JRAのオープン特別好走馬も有力。18年1着リエノテソーロは前走芝のヴィクトリアマイルで大敗していたが、過去に全日本2歳優駿を勝利していた。基本的には実績重視。その上で先行できるかをチェックしたい。特に外枠を引いた場合は、前へ行けないと厳しい展開になる。

穴を開けるとすれば地元の南関東勢。19年は11番人気のローレイが3着、17年ララベルと16年ブルーチップはともに4番人気で2着と好走した。

第24回 マーキュリーカップ

Jpn III

7月21日(火)

3歳以上 盛岡2000m
1着賞金2300万円
フルゲート14頭

19.7.15 盛岡 2000m 晴・良	1 ① グリム(JRA)	牡4	56	武 豊	2.03.2	1人
	3 ③ ノーブルサターン(JRA)	牡5	54	鮫島良太	2	4
	6 ⑨ テルベリオン(JRA)	牡5	54	松若風馬	3/4	3
	単勝① 130円 枠連複(1-3)1,420円 馬連複(1-3)1,510円 馬連単(1-3)1,800円 3連複(1-3-9)790円 3連単(1-3-9)3,690円					
18.7.16 盛岡 2000m 曇・良	6 ⑩ ミツバ(JRA)	牡6	55	松山弘平	2.03.5	2人
	5 ⑧ ヨシオ(JRA)	牡5	54	戸崎圭太	1	4
	8 ⑭ フェニックスマーク(JRA)	牡4	54	横山典弘	4	1
	単勝⑥ 220円 枠連複(5-6)770円 馬連複(8-10)940円 馬連単(10-8)1,530円 3連複(8-10-14)450円 3連単(10-8-14)3,320円					
17.7.17 盛岡 2000m 曇・稍重	2 ② ミツバ(JRA)	牡5	54	松山弘平	2.02.1	1人
	3 ③ ピオネロ(JRA)	牡6	54	戸崎圭太	クビ	2
	4 ⑤ クリノスターオー(JRA)	牡7	56	幸 英明	1/2	3
	単勝② 230円 枠連複(2-3)220円 馬連複(2-3)220円 馬連単(2-3)450円 3連複(2-3-5)340円 3連単(2-3-5)1,190円					

●近3年は上位人気馬が独占

近3年で3着以内に好走したのべ9頭中7頭は1～3番人気。JRA勢が上位を独占していることもあるが、非常に堅い傾向だ。前走JRAの中距離重賞で5着以内に入っている馬や、東京2100mのオープン特別で好走している馬が人気にこたえている。逆に言うと、そうした実績馬が不在の場合は波乱の余地が十分あるということになる。前走重賞で大敗した馬の巻き返しめずらしくない。

地方勢は2016年にタイムズアロー(船橋)が9番人気で2着、15年にはユーロビート(大井)が6番人気で勝利している。実績・実力の裏付けは必要だが、南関東からの遠征馬には要注意だ。

第25回 クラスターカップ

Jpn III

8月10日(祝・月)

3歳以上 盛岡1200m
1着賞金2300万円
フルゲート14頭

19.8.12 盛岡 1200m 曇・良	6 ⑩ ヤマニンアンプリメ(JRA)	牝5	53	岩田康誠	1.09.1	2人
	4 ⑥ ヒロシゲゴールド(JRA)	牡4	54	武 豊	1	3
	6 ⑨ コパノキッキング(JRA)	牝4	55	藤田菜七子	2	1
	単勝⑥ 280円 枠連複(4-6)210円 馬連複(6-10)510円 馬連単(10-6)960円 3連複(6-9-10)290円 3連単(10-6-9)1,880円					
18.8.15 盛岡 1200m 曇・良	3 ④ オウケンビリーヴ(JRA)	牝5	52	北村友一	1.09.1	3人
	6 ⑨ ネロ(JRA)	牡7	55	吉原寛人	クビ	4
	4 ⑤ ラブバレット(岩手)	牡7	54	山本聡哉	6	2
	単勝④ 440円 枠連複(3-6)390円 馬連複(4-9)1,170円 馬連単(4-9)2,270円 3連複(4-5-9)1,170円 3連単(4-9-5)8,080円					
17.8.15 盛岡 1200m 小雨・稍重	1 ① ブルドッグボス(浦和)	牡5	54	左海誠二	R 1.08.8	4人
	8 ⑬ ラブバレット(岩手)	牡6	54	山本聡哉	クビ	3
	6 ⑨ サイタスリーレッド(JRA)	牡4	54	高倉 稜	2	1
	単勝① 720円 枠連複(1-8)1,210円 馬連複(1-13)1,040円 馬連単(1-13)2,120円 3連複(1-9-13)1,160円 3連単(1-13-9)8,940円					

●近年はのちのJpn I馬が勝利

2019年1着のヤマニンアンプリメは同じ年にJBCレディスクラシック(浦和1400m)を勝利した。15、16年と連覇したダノンレジェンドは16年のJBCスプリント(川崎1400m)で待望のJpn I初制覇を飾った。17年1着のブルドッグボス(浦和)も19年にJBCスプリント(浦和1400m)を勝利しており、近年はのちのJpn I馬が優勝馬に名を連ねている。

好ステップは北海道スプリントカップ。同レースに限らず前走重賞で好走していると信頼度が高まる。休み明けの場合は少し注意したほうがいい。また、18年、19年には牝馬が連勝と牝馬の活躍が目立つレースでもある。

第20回 サマーチャンピオン

Jpn III

8月12日(水)

3歳以上 佐賀1400m
1着賞金2300万円
フルゲート12頭

19.8.14 佐賀 1400m 雨・稍重	8 ⑩ グランドボヌール(JRA)	牡5	54	和田竜二	1.26.6	3人
	2 ② ヒザクリゲ(JRA)	牝4	53	横山典弘	ハナ	2
	7 ⑨ シャインヴィクトゥ(JRA)	牡5	53	田中勝春	4	4
	単勝⑧ 440円 枠連複(2-8)800円 馬連複(2-10)880円 馬連単(10-2)1,710円 3連複(2-9-10)1,370円 3連単(10-2-9)7,060円					
18.8.14 佐賀 1400m 晴・良	8 ⑩ エイシンバランサー(兵庫)	牡6	55	下原 理	1.25.7	5人
	3 ③ ブルミラコ(JRA)	牡6	56	秋山真一郎	1/2	4
	7 ⑧ ヨシオ(JRA)	牡5	55	戸崎圭太	1 1/2	1
	単勝⑧ 1,320円 枠連複(3-8)1,950円 馬連複(3-10)3,770円 馬連単(10-3)8,680円 3連複(3-8-10)2,390円 3連単(10-3-8)27,280円					
17.8.16 佐賀 1400m 曇・不良	7 ⑨ ラインシュナイダー(JRA)	牡5	54	武 豊	1.26.1	2人
	3 ③ タムロミラクル(JRA)	牡5	55	福永祐一	アタマ	3
	8 ⑩ ウインムート(JRA)	牡4	55	D.ホワイ	1 1/2	1
	単勝⑦ 300円 枠連複(3-7)520円 馬連複(3-9)560円 馬連単(9-3)980円 3連複(3-9-10)440円 3連単(9-3-10)2,540円					

●昨年はダート未経験馬が勝利

クラスターカップ(盛岡)と実施日が近いからメンバーは手薄になりやすい。そのため、実績的に見劣る馬でもチャンスがある。プロキオンステークスで善戦した馬が出てくれば有力だが、そうでない場合は予想が難しくなる。2019年1着のグランドボヌールは芝からの転戦で、ダートで勝利した経験はなかった。同年3着のシャインヴィクトゥはオープン昇級後、2戦続けて大敗していたがここで好走した。

地方勢は兵庫の馬に注意。18年にエイシンバランサーが優勝し、15年はタガノジנגガロが2着と好走。ともに前走の地方の重賞で勝利していた。

第32回 ブリーダーズ ゴールドカップ

JpnⅢ

8月13日(木)

3歳以上牝馬 門別2000m
1着賞金3100万円
フルゲート16頭



写真●写真のトライ

19.8.15 門別 2000m 曇・稍重	8⑪ アンデスクイーン(JRA) 牝5 55 戸崎圭太 2.06.2 2人気 6⑥ プリンシアコメータ(JRA) 牝6 57 岩田康誠 1/2 1 2② ラインカーナ(JRA) 牝3 55 武藤 雅 ハナ 3
18.8.16 門別 2000m 曇・不良	6⑪ ラビットラン(JRA) 牝4 57 M.デムーロ 2.05.6 3人気 4⑥ プリンシアコメータ(JRA) 牝5 56 戸崎圭太 4 4 5⑤ クイーンマンボ(JRA) 牝4 57 C.ルメール 3 1
17.8.17 門別 2000m 曇・重	8⑪ マイティティ(JRA) 牝5 55 池添謙一 2.08.4 6人気 5⑤ クイーンマンボ(JRA) 牝3 55 C.ルメール 3/4 1 1① オーザイト(JRA) 牝4 55 福永祐一 6 4
16.8.11 門別 2000m 晴・良	8⑩ アムールブリエ(JRA) 牝5 57 濱中 俊 2.08.7 1人気 5⑤ タイニーダンサー(JRA) 牝3 55 桑村真明 7 3 4④ ビーバーレール(JRA) 牝3 54 武 豊 1 1/2 2
15.8.13 門別 2000m 曇・良	4⑦ アムールブリエ(JRA) 牝4 57 濱中 俊 2.08.1 4人気 6⑩ サンピスタ(JRA) 牝6 58 岩田康誠 アタマ 1 5⑧ ホワイトフーガ(JRA) 牝3 55 大野拓弥 5 2

●実力馬にも付け入る隙がある

全体的なメンバーは秋にJBCレディスクラシックを狙う馬たちで構成される。なので基本的には実績を重視して本命馬を選びたいところ。だが、本番に向けては少し間隔があくので、実力馬に付け入る隙が生じることがある。

同レースが牝馬限定になった2014年以降、過去6年の単勝1番人気は1勝、2着4回、3着1回で複勝率100%と手堅い。しかし、勝利したのは16年のアムールブリエだけだ。同馬は15年からの連覇で前走は帝王賞に出走(11着)していた。強い牡馬を相手に戦っている馬に注目すべきかもしれない。別の見方をすると、近走牝馬限定のダートグレードで好走していても安心はできない。

3歳馬は過去5年で5頭が3着以内を確保している。主に関東オークス優勝馬は有力だが、人気になりやすく配当面の優味は薄い。人気よりも上の着順だったのは16年2着タイニーダンサー(3番人気)だけだ。17年はクイーンマンボが1番人気で2着、15年はホワイトフーガが2番人気で3着に敗れている。ホワイトフーガは同年秋にJBCレディスクラシックを勝利。実力負けではなかったが、こは古馬の洗礼を浴びた格好だ。

第31回 テレ玉杯 オーバルスプリント

JpnⅢ

9月22日(祝・火)

3歳以上 浦和1400m
1着賞金2100万円
フルゲート12頭

19.9.12 浦和 1400m 曇・稍重	2② ノブワイルド(浦和) 牡7 55 左海誠二 1.25.3 3人気 5⑤ ワイドファラオ(JRA) 牡3 55 福永祐一 1 1/2 2 7⑨ ヤマニンアンブレ(JRA) 牝5 53 岩田康誠 1 1/2 1
18.9.24 浦和 1400m 曇・稍重	2② ノブワイルド(浦和) 牡6 54 左海誠二 1.26.1 4人気 12⑫ オウケンビリーヴ(JRA) 牝5 53 北村友一 3/4 2 6⑧ トーセンハルカゼ(浦和) 牡8 54 真島大輔 ハナ 9
17.9.20 浦和 1400m 曇・稍重	6⑦ サイタスリーレッド(JRA) 牡4 54 戸崎圭太 1.25.1 2人気 3③ レーザーパレット(JRA) 牡9 56 岩田康誠 2 5 5⑤ プルドッグボス(浦和) 牡5 55 左海誠二 1 1/2 3

●中央交流後、1番人気は未勝利

JRAとの交流重賞となった2011年以降(11、12年は格付けなし)、単勝1番人気は2、3着が各2回でそのほかは4着以下といまだに勝利がない。2着に入ったのはソルテ(16年)とエーシンポートロン(14年)で、ともに前走で1400mのダートグレードを勝利していた。実績としては信頼できそうなタイプに見えるが勝てなかった。浦和1400mというコースの難しさも垣間見える傾向だ。

また、18、19年と地元のノブワイルド(浦和)が連覇。13年にはセイントメモリー(大井)が4番人気で優勝した。地元南関東勢の好走が目立つレースでもある。

第40回 白山大賞典

JpnⅢ

9月29日(火)

3歳以上 金沢2100m
1着賞金2100万円
フルゲート12頭

19.10.1 金沢 2100m 晴・良	8⑩ グリム(JRA) 牡4 56 濱中 俊 2.15.9 1人気 4④ デルマルーヴル(JRA) 牡3 52 吉原寛人 クビ 2 6⑥ ノーヴァレンダ(JRA) 牡3 52 和田竜二 3/4 5
18.10.2 金沢 2100m 晴・稍重	8⑪ グリム(JRA) 牡3 53 内田博幸 R2.11.4 2人気 7⑦ センチュリオン(JRA) 牡6 55 大野拓弥 5 4 5⑤ カツゲキキト(名古屋) 牡5 54 大畑雅章 1 1/2 5
17.10.3 金沢 2100m 曇・不良	8⑩ インカンテーション(JRA) 牡7 56 岩田康誠 2.13.6 1人気 3③ カツゲキキト(名古屋) 牡4 54 大畑雅章 2 1/2 5 7⑦ クリノスターオー(JRA) 牡7 56 幸 英明 1/2 2

●過去5年は3歳馬も活躍

過去5年では3歳馬の活躍も目立つ。2019年は2着にデルマルーヴル、3着にノーヴァレンダが食い込み、18年にはグリム、16年にはケイティブレイブが勝利した。古馬との対戦経験は必須ではないが、好走経験があればより上の着順が狙えるだろう。重賞実績は必要で、ないと出走すら難しいはず。特にレパードステークス連対馬が有力になる。

古馬は前走エルムステークス出走馬が有力。同レースはかなりのスピード能力が要求されるので、着順はあまり気にしない方がいい。先行争いに敗れたり、追走に苦労した馬が狙い目。昨年はグリムが同レース7着から巻き返し、連覇を飾った。

第67回 日本テレビ盃

JpnⅡ

9月30日(水)

3歳以上 船橋1800m
1着賞金3200万円
フルゲート14頭

19.9.23 船橋 1800m 晴・稍重	8⑪ クリンベリル(JRA) 牡3 55 川田将雅 1.52.1 1人気 10⑩ ロンドンタウン(JRA) 牡6 56 岩田康誠 4 4 5⑤ ノンコノユメ(大井) セ7 57 笹川 翼 4 2
18.10.3 船橋 1800m 曇・稍重	5⑥ ケイティブレイブ(JRA) 牡5 58 福永祐一 1.52.5 1人気 4④ アポロケンタッキー(JRA) 牡6 57 J.モレイラ 2 2 7⑨ サウンドトゥルー(JRA) セ8 58 御神本訓史 1 1/2 3
17.9.27 船橋 1800m 曇・稍重	8⑪ アポロケンタッキー(JRA) 牡5 58 内田博幸 1.52.9 4人気 2② サウンドトゥルー(JRA) セ7 58 大野拓弥 クビ 3 10⑩ ケイティブレイブ(JRA) 牡4 58 福永祐一 3/4 1

●上がり馬にもチャンスあり

秋のダートGI/JpnI戦線に向けての前哨戦。現役トップクラスの実績馬は休み明けの余裕残しで出てくる場合もあり、取りこぼすことも考えられる。帝王賞以来の間隔であればさほど気に

ならないが、それ以上長くなると注意したい。その分上がり馬にもチャンスがある。2016年1着のアウアーディーや15年1着のサウンドトゥルーはその好機を生かした。元々地力はあったわけだが、同じ年にGI/JpnI馬の仲間入りを果たした。

ここ好走するには同じ年にダート中距離重賞で連対していることが望ましい。基本的にはJRA勢の争いだ。

LOTO 高額配当ランキング

Odds Park

2020年3月1日～2020年5月31日

[五重勝単勝式]

第1位	7,385,490円(1口)	5/20 笠松
第2位	5,637,870円(1口)	4/19 佐賀
第3位	3,628,240円(1口)	4/24 帯広

[七重勝単勝式]

第1位	1,825,300円(4口)	3/22 帯広
-----	----------------	---------

読者プレゼント

①オッズパーク特製ボールペン…10名様

提供：オッズ・パーク株式会社



※写真はイメージです

ご希望の方は官製はがきに、①ご希望のプレゼント名、②住所・氏名、③年齢、④本誌に対するご意見・感想、⑤Odds Parkを利用しているのご感想、⑥Odds Parkへのご意見・要望を明記の上、下記まで。締切は7月20日(月)の消印有効。当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。なお、個人情報については景品の発送以外の目的では使用いたしません。

〒901-0298 沖縄県豊見城市豊崎 オッズパークサポートセンター OPCプレゼント係

開催日程

☆☆ ナイター開催時の投票開始時間 ☆☆☆
 兵庫(園田)、高知 …………… ナイター開催日 10:00 ~
 ばんえい帯広、ホッカイドウ、南関東 … ナイター開催日 12:00 ~

DG ダートグレード開催日 重賞 重賞開催日
 ●: デイ開催 ●: 薄暮取扱 ●: ナイター取扱

7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
ばんえい 帯 広				●	重賞	●					●	●	●					●	重賞	●					●	●	●					ばんえい
ホッカイドウ 門 別	●	重賞					●	●	●					●	重賞	重賞					●	●	重賞					重賞	●	●		ホッカ イドウ
岩 手 盛岡/水沢				水沢	水沢	水沢						盛岡	盛岡	盛岡				盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					岩手
金 沢				●			重賞					●		●					●	重賞					●		●	重賞				金沢
笠 松																																笠松
名 古 屋							●	●	●	●							●					●	重賞	●							●	名古屋
兵 庫 園田/姫路	●	●	●				●	●	●	●					●	●	●				●	●	重賞					●	●	●		兵庫
高 知				●	●						●	●						●	重賞						●	●						高知
佐 賀				●	重賞						●	●						●	重賞													佐賀
南関DG							大井 DG								川崎 DG																	南関東

8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
ばんえい 帯 広	●	重賞	●					●	●	●					●	重賞	●					●	●	●					●	重賞	●	ばんえい
ホッカイドウ 門 別				●	●	●					●	重賞	DG 重賞					●	●	●				●	●	重賞						ホッカ イドウ
岩 手 盛岡/水沢	盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢	岩手
金 沢		●		●						●	●					●		●	重賞				●	重賞	●					●		金沢
笠 松										●		●	重賞	●												●	重賞	●				笠松
名 古 屋				重賞	●	●							●	●				●	●	●	●											名古屋
兵 庫 園田/姫路				●	●	●					●	●	●	重賞				●	●	●	●				●	●	●					兵庫
高 知								●	●						●	●						●	重賞						●	●		高知
佐 賀										●		DG				重賞	●					●						●	●			佐賀
南関DG																																南関東

9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		
ばんえい 帯 広					●	●	●					●	●	●					●	重賞	●					●	重賞	●			ばんえい	
ホッカイドウ 門 別	●	●	重賞					●	●	重賞					●	●	重賞					重賞	●	重賞					●	●	ホッカイドウ	
岩 手 盛岡／水沢					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡			岩 手	
					重賞	重賞	●					●	重賞	●		●			●		●	●				●	重賞	●		DG	金 沢	
金 沢	重賞					重賞		●					●		●					●		●					重賞				金 沢	
笠 松								●	重賞	●												●	●	●	●						笠 松	
名 古 屋	●	●	●	●											●	●	重賞	●											●	●	名古屋	
兵 庫 園田／姫路		園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田						園田	園田	園田					園田	兵 庫
		●	重賞	●				●	●	重賞					●	●	●						●	重賞	●				●			
高 知					●	●						●	重賞								重賞	●										高 知
佐 賀					●			重賞				●							●	●						●	●					佐 賀
南関DG																							浦和 DG								船橋 DG	南関東

※日程は変更となる場合がございますのでご注意ください。
 ※南関東地区で行われるダートグレード競走については、市中銀行会員のみの投票できます。
 ※ホッカイドウ競馬については、市中銀行会員・ジャパンネット銀行会員のみの投票できます。

重賞&ダートグレード日程(2020年7月~9月)

7月	競馬場	実施日	競走名	重賞	競走条件	距離	備考
	門別	2(木)	第6回 グランシャリオ門別スプリント	重賞	3歳以上	1,000	
	帯広	5(日)	第14回 柏林賞	重賞	4歳	200	
	水沢	5(日)	第32回 栗駒賞	重賞	3歳以上	1,400	
	佐賀	5(日)	第3回 佐賀王冠賞	重賞	3歳以上	2,000	
	金沢	7(火)	第3回 日本海スプリント	重賞	3歳以上	900	北陸・東海地区交流
	大井	8(水)	第22回 ジャパンダートダービー JpnI	DG	3歳	2,000	中央・地方全国交流
	盛岡	12(日)	第21回 オパールカップ	重賞	3歳	芝1,700	地方全国交流
	門別	15(水)	第17回 星雲賞	重賞	3歳以上	1,600	地方全国交流
	川崎	15(水)	第24回 スパークングレディーカップ JpnIII	DG	3歳以上牝馬	1,600	中央・地方全国交流
	門別	16(木)	第19回 ノースクイーンカップ	重賞	3歳以上牝馬	1,800	地方全国交流
	帯広	19(日)	第51回 旭川記念	重賞	3歳以上	200	
	盛岡	19(日)	第52回 岩鷲賞	重賞	3歳以上	1,200	
	高知	19(日)	第17回 トレノ賞	重賞	3歳以上	1,300	
	佐賀	19(日)	第22回 吉野ヶ里記念	重賞	3歳以上	1,400	
	盛岡	21(火)	第24回 マーキュリーカップ JpnIII	DG	3歳以上	2,000	中央・地方全国交流
	金沢	21(火)	第18回 金沢スプリントカップ	重賞	3歳以上	1,400	北陸・東海・近畿地区交流
	門別	23(祝・木)	第41回 王冠賞	重賞	3歳	1,800	地方全国交流
	名古屋	23(祝・木)	第24回 名港盃	重賞	3歳以上	1,900	北陸・東海・近畿地区交流
	園田	24(祝・金)	第13回 兵庫サマークイーン賞	重賞	3歳以上牝馬	1,700	地方全国交流
	盛岡	26(日)	第8回 ハヤテスプリント	重賞	3歳	1,200	地方全国交流
	門別	28(火)	第14回 ブリーダーズゴールドジュニアカップ	重賞	2歳	1,700	
	盛岡	28(火)	第33回 やまびこ賞	重賞	3歳	1,800	
	金沢	28(火)	第64回 MRO金賞	重賞	3歳	1,900	北陸・東海・近畿地区交流
8月	帯広	2(日)	第45回 ばんえい大賞典	重賞	3歳	200	
	盛岡	2(日)	第42回 せきれい賞	重賞	3歳以上	芝2,400	地方全国交流
	名古屋	5(水)	第3回 湾岸スターカップ	重賞	3歳	1,600	
	盛岡	9(日)	第34回 ひまわり賞 (オークス)	重賞	3歳牝馬	1,800	
	盛岡	10(祝・月)	第25回 クラスターカップ JpnIII	DG	3歳以上	1,200	中央・地方全国交流
	門別	12(水)	第7回 フルールカップ	重賞	2歳牝馬	1,000	地方全国交流
	佐賀	12(水)	第20回 サマーチャンピオン JpnIII	DG	3歳以上	1,400	中央・地方全国交流
	門別	13(木)	第20回 エトワール賞	重賞	3歳以上	1,200	地方全国交流
	門別	13(木)	第32回 ブリーダーズゴールドカップ JpnIII	DG	3歳以上牝馬	2,000	中央・地方全国交流
	笠松	13(木)	第49回 くらゆり賞	重賞	3歳以上	1,600	地方全国交流
	園田	14(金)	第52回 摂津盃	重賞	3歳以上	1,700	
	帯広	16(日)	第32回 ばんえいグランプリ	重賞	3歳以上	200	ファン投票
	盛岡	16(日)	第21回 若鮎賞	重賞	2歳	芝1,600	
	佐賀	16(日)	第17回 ロータスクラウン賞	重賞	3歳	2,000	四国・九州地区交流
	金沢	18(火)	第38回 読売レディス杯	重賞	3歳以上牝馬	1,500	地方全国交流
	金沢	23(日)	第7回 加賀友禅賞	重賞	3歳牝馬	1,400	
	高知	23(日)	第43回 建佐別賞	重賞	3歳以上	1,400	
	門別	27(木)	第17回 リリーカップ	重賞	2歳牝馬	1,200	地方全国交流
	笠松	27(木)	第44回 岐阜金賞	重賞	3歳	1,900	北陸・東海・近畿地区交流
	帯広	30(日)	第32回 はまなす賞	重賞	3歳・4歳	200	
	水沢	30(日)	第46回 ビューチフルドリーマーカップ	重賞	3歳以上牝馬	1,900	地方全国交流
9月	金沢	1(火)	第16回 イヌワシ賞	重賞	3歳以上	2,000	地方全国交流
	門別	3(木)	第7回 サッポロクラシックカップ	重賞	2歳	1,700	地方全国交流
	園田	3(木)	第3回 園田オータムトロフィー	重賞	3歳	1,700	
	盛岡	5(土)	第38回 ビギナーズカップ	重賞	2歳	1,400	
	盛岡	6(日)	第52回 不來方賞	重賞	3歳	2,000	
	金沢	6(日)	第55回 サラブレッド大賞典	重賞	3歳	2,000	
	佐賀	8(火)	第24回 霧島賞	重賞	3歳以上九州産馬	1,400	中央2勝クラス・地方全国交流
	門別	10(木)	第6回 旭岳賞	重賞	3歳以上	2,000	地方全国交流
	笠松	10(木)	第5回 西日本ダービー	重賞	3歳	1,900	北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	園田	11(金)	第17回 園田チャレンジカップ	重賞	3歳以上	1,400	北陸・東海・近畿地区交流
	盛岡	13(日)	第28回 青藍賞	重賞	3歳以上	1,600	
	高知	13(日)	第24回 黒潮菊花賞	重賞	3歳	1,900	
	門別	17(木)	第20回 フローラルカップ	重賞	2歳牝馬	1,600	地方全国交流
	名古屋	17(木)	第14回 秋桜賞	重賞	3歳以上牝馬	1,400	地方全国交流
	帯広	20(日)	第56回 岩見沢記念	重賞	3歳以上	200	
	盛岡	21(祝・月)	第22回 ジュニアグランプリ	重賞	2歳	芝1,600	地方全国交流
	高知	21(祝・月)	第32回 珊瑚冠賞	重賞	3歳以上	1,900	
	門別	22(祝・火)	第1回 ウポポイオータムスプリント	重賞	3歳以上	1,200	地方全国交流
	浦和	22(祝・火)	第31回 テレ玉杯オーバルスプリント JpnIII	DG	3歳以上	1,400	中央・地方全国交流
	門別	24(木)	第20回 イノセントカップ	重賞	2歳	1,200	地方全国交流
	園田	24(木)	第22回 園田プリンセスカップ	重賞	2歳牝馬	1,400	地方全国交流
	帯広	27(日)	第28回 銀河賞	重賞	4歳	200	
	盛岡	27(日)	第22回 岩手県知事杯OROカップ	重賞	3歳以上	芝1,700	地方全国交流
	金沢	27(日)	第15回 金沢プリンセスカップ	重賞	2歳牝馬	1,400	
	金沢	29(火)	第40回 白山大賞典 JpnIII	DG	3歳以上	2,100	中央・地方全国交流
	船橋	30(水)	第67回 日本テレビ盃 JpnII	DG	3歳以上	1,800	中央・地方全国交流

※開催内容が変更となる場合がございますのでご注意ください。

昨年度優勝馬：アンデスクイーン
騎手：戸崎圭太

夏の最強牝馬 決定戦！

3歳以上牝馬 2020年8月13日(木)
2,000m 中央・地方全国交流戦

ブリーダーズゴールドカップ (JpnIII)

● オッズパークで投票できる勝馬投票券

すべてのレースに投票できます(ホッカイドウ競馬については、市中銀行会員・ジャパンネット銀行会員のみ投票できます)

競馬場	場番号	最大出走頭数	単勝(単)	複勝(複)	連勝複式		連勝単式		三連勝	重勝式		投票方式				レース実況			
					枠番 普通 (馬場)	馬番 拡大 (ワイド)	枠番 複勝 単	馬番 複勝 単		三連複	三連単	セレクト5	セレクト7	ランダム7	電話投票ARS		インターネット投票 オッズパーク	携帯アプリ投票 クラシック	
	賭式番号	1	2	3	4	7	5	6	8	9									
ばんえい帯広	03	10	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●		●	●	●	●	0180-991-073(帯広市)
ホッカイドウ門別	06	16	●	●	●	●	●		●	●	●				●		●	●	0180-991-234(札幌市)
盛岡	11	15		●	●	●	●	●		●	●	●			●	●	●	●	0180-991-335(盛岡開催)(盛岡市)
水沢	12	12													●				0180-991-336(水沢開催)(奥州市)
金沢	41	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	0180-997-553(金沢市) 076-257-7711
笠松	42	10	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●		●	●	●	●	0180-995-001(笠松町)
名古屋	43	12	●	●	●	●	●		●	●	●				●	●	●	●	0180-995-711(名古屋市)
園田	51	12		●		●	●	●	●		●	●	●		●	●	●	●	0180-996-200(園田開催)(尼崎市)
姫路	52	12														●	●	●	0180-997-200(姫路開催)(姫路市)
高知	55	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	●	0180-998-991(高知市)
佐賀	61	12	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-999-211(鳥栖市)

※販売賭式は変更になる場合がございます。 ※重勝式は、インターネット投票(クラシック投票は除く)のみ投票できます。

ダートグレード競走のみ投票することができます(市中銀行会員のみ投票できます)

浦和	31	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-993-400 (東京03エリア)
船橋	32	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
大井	33	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
川崎	34	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

オッズパーク
サポートセンター

電話 0570-006889 (ナビダイヤル) / 03-6837-4500 FAX 098-851-0988
受付時間 10:00~21:00(ナイター非開催日は17:30まで) ※施設点検日およびメンテナンス日は休業

インターネット投票

パソコン
<http://www.oddspark.com/>
携帯
<http://m.oddspark.com/>
スマートフォン
<https://sp.oddspark.com/>

電話投票

0570-011100(ナビダイヤル)
03-6833-0111

※投票はどちらの投票用電話番号でもご利用になれます。

レース結果案内(全主催者共通)

0570-011555(ナビダイヤル)
03-6748-0100
03-6748-0101

※番号をよくご確認のうえ、お間違えのないようお願いいたします。

※「0180」「0570」で始まる電話番号は、一部の携帯電話・PHSからはご利用になれません。また、NTT以外の電話会社と契約されている場合はご利用いただけない場合がございます。

※「0180」で始まる電話番号は(固定電話)音源所在地までの一般ダイヤル通話料(携帯電話)全国一律14秒10円(3分130円)がかかりますのでご注意ください。

※ナビダイヤル(「0570」で始まる電話番号)の通常電話からの通話料金は、全国一律で一般電話からは1分10円、携帯電話からは20秒10円です。